

日本史上最大の
炭鉱爆発事故。 特集

方城大非常

671人。それ以上の死者を出したともいわれる事故が、突然この町をおそった。
大正3年12月15日に発生した「^{みつしほしほうじょうたんこう}三菱方城炭鉱 ^{たん}ガス炭じん爆発」。
しかし、もはや、その惨状を目のあたりにした人はいない。
この事故があったことさえも、忘れ去られようとしている。
かつて筑豊では、坑内災害を日常と反して「^{ひじょう}非常」と呼んだ。
痛ましい炭鉱災害史の中で、この事故は「^{ほうじょうだい ひじょう}方城大非常」と叫ばれる大惨事だった。
93年前に起きた日本史上最大の炭鉱爆発事故は、わたしたちに何を語りかけるのだろうか。
地底の闇に閉ざされた炭鉱史の底に、何が見えるのだろうか——

第一章

その時



→ 炭鉱災害で日本最大の犠牲者を出した「方城大非常」。事故直後、三菱方城炭鉱の正門前には安否を気遣う家族が押し寄せた。大正3（1914）年12月15日の事故当日撮影。写真／毎日新聞社

※ 特集の中の「炭鉱」や「炭坑」などの表記は、基本的に、当時の用字用語を使用しています。